

平成25年度事業報告の概要

I 法人の概要

1 設置する学校・学部・学科等

設置する学校	設置認可年月	学部・学科等		摘 要
神戸女子大学 大 学 院	昭和59年3月	家政学研究科	食物栄養学専攻	
			生活造形学専攻	
		文学研究科	日本文学専攻	
			英文学専攻	
			日本史学専攻	
神戸女子大学	昭和41年3月	家政学部	家政学科	
			管理栄養士養成課程	
		文学部	日本語日本文学科	
			英語英米文学科	
			神戸国際教養学科	
			史 学 科	
			教 育 学 科	
		健康福祉学部	社会福祉学科	
			健康スポーツ栄養学科	
				学校教育学専攻科
神戸女子 短期大学	昭和25年3月	幼児教育学科		
		総合生活学科		
		食物栄養学科		
神戸女子大学附属 高倉台幼稚園	昭和48年4月			

(平成26年4月1日現在)

2 学校・学部・学科等の定員と現員

(平成26年5月1日現在)

区 分	学部・学科等		入学定員	入学者数	収容定員	現 員	
神戸女子大学 大 学 院	家政学研究科 (博士課程)	食物栄養学専攻	前期	8	9	16	25
			後期	2	1	6	4
		生活造形学専攻	前期	6	0	12	5
			後期	2	0	6	4
	小 計			18	10	40	38
	文学研究科 (博士課程)	日本文学専攻	前期	4	1	8	4
			後期	2	0	6	0
		英文学専攻	前期	4	2	8	2
			後期	2	0	6	2
		日本史学専攻	前期	4	3	8	5
			後期	2	0	6	1
		教育学専攻	前期	4	2	8	3
			後期	2	1	6	3
	小 計			24	9	56	20
	合 計			42	19	96	58
神戸女子大学	家 政 学 部	家 政 学 科	80	98	320	411	
		管理栄養士養成課程	*160	134	600	611	
		小 計	240	232	920	1,022	
	文 学 部	日本語日本文学科	60	55	240	272	
		英語英米文学科	60	60	240	234	
		神戸国際教養学科	40	56	160	210	
		史 学 科	60	63	240	264	
		教 育 学 科	165	178	660	776	
		小 計	385	412	1,540	1,756	
	健康福祉学部	社会福祉学科	80	75	320	306	
		健康スポーツ栄養学科	60	67	240	283	
		小 計	140	142	560	589	
	学校教育学専攻科			15	1	15	2
合 計			780	787	3,035	3,369	
神 戸 女 子 短 期 大 学	幼 児 教 育 学 科		100	97	200	214	
	総 合 生 活 学 科		150	106	300	232	
	食 物 栄 養 学 科		140	121	280	267	
	合 計		390	324	780	713	
神戸女子大学附属高倉台幼稚園			*100	81	200	256	
総 計			1,312	1,194	4,111	4,396	

注) *管理栄養士養成課程の入学定員には3年次編入定員20名を含む。

*附属高倉台幼稚園の入学定員は募集可能人員を示す。

3 役員等の概要

(1) 理事

<定数： 8人 、任期： 4年>

選 任 区 分		定数	実数
第1号	神戸女子大学長	1人	1人
第2号	評議員のうちから評議員会において選任した者	4人	4人
第3号	学識経験者のうち理事会において選任した者	3人	3人
合 計		8人	8人

*寄附行為第6条第1号～第3号において規定

(2) 監事

<定数： 3人 、任期： 4年>

選 任 条 項	定数	実数
理事会において選出した候補者のうちから評議員会の同意を得て理事長が選任（寄附行為第7条）	3人	3人

(3) 評議員

<定数：20人 、任期： 4年>

選 任 区 分		定数	実数
第1号	法人の職員で理事会において推薦された者のうちから評議員会において選任した者	5人	5人
第2号	法人の設置する学校を卒業した者で年令25年以上のものうちから理事会において選任した者	9人	9人
第3号	学識経験者のうちから理事会において選任した者	5人	5人
第4号	神戸女子大学教育後援会会長	1人	1人
合 計		20人	20人

*寄附行為第22条第1号～第4号において規定

4 教職員の概要

(平成26年5月1日現在)

区 分	法人本部	神戸女子大学	神戸女子短期大学	神戸女子大学附属 高倉台幼稚園	計
専任教員	—	147人	43人	10人	200人
専任職員	9人	68人	17人	3人	97人
計	9人	215人	60人	13人	297人

*平均年齢は、教員53.1才・職員47.1才である。

5 施設等の状況（平成26年3月31日現在）

(1) 土地

区分	所在地	面積 (㎡)	摘要
須磨キャンパス	兵庫県神戸市須磨区	145,623.61	神戸女子大学専用
PIキャンパス	兵庫県神戸市中央区	24,524.84	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
三宮キャンパス	兵庫県神戸市中央区	4,931.00	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
附属高倉台幼稚園	兵庫県神戸市須磨区	2,566.58	高倉台幼稚園専用
小計		177,646.03	
寄宿舍 (行幸寮・天神寮)	兵庫県神戸市須磨区	3,128.13	神戸女子大学専用
セミナーハウス	米国ハワイ州ホノルル	683.65	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
職員宿舎	兵庫県神戸市須磨区	382.34	
合計		181,840.15	

(2) 建物

区分	面積 (㎡)	摘要	
須磨キャンパス (兵庫県神戸市須磨区)	校舎	26,631.74	神戸女子大学専用
	体育館	3,460.50	
	図書館	6,081.45	
	実験室	57.60	
	守衛室	68.76	
	クラブ室	986.85	
	食堂	2,115.98	
	会館	246.80	
小計	39,649.68		
PIキャンパス (兵庫県神戸市中央区)	校舎	3,471.95	神戸女子大学専用
		23,954.49	神戸女子短期大学専用
	体育館	2,334.04	
	守衛室	47.93	
小計	29,808.41		
三宮キャンパス (兵庫県神戸市中央区)	校舎(体育館を含む)	7,085.46	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
附属高倉台幼稚園 (兵庫県神戸市須磨区)	校舎	1,398.61	高倉台幼稚園専用
寄宿舍(行幸寮・天神寮) (兵庫県神戸市須磨区)		4,412.56	神戸女子大学専用 *附属建物 12.48㎡を含む
セミナーハウス(米国ハワイ州ホノルル)		1,074.67	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
職員宿舎(兵庫県神戸市須磨区)		436.64	
合計		83,866.03	

II 事業の概要

1 卒業生・修了者数の状況

平成25年度に、神戸女子大学、神戸女子大学大学院及び神戸女子短期大学を卒業・修了した者は下表のとおりです。

区 分		学部・学科等	卒業生・修了者数
神戸女子大学	学 部	文 学 部	431名
		健康福祉学部	141名
		家 政 学 部	253名
		計	825名
	大学院	家政学研究科	8名
		文学研究科	5名
計		13名	
神戸女子短期大学	総合生活学科	94名	
	食物栄養学科	152名	
	幼児教育学科	120名	
	計	366名	
合 計			1,204名

2 卒業生の進路状況

キャリアサポートセンターでは、資格取得講座の開講などのキャリア教育を通じて学生の就職を支援していますが、平成26年3月に大学・短期大学を卒業した者の進路状況は下表のとおりです。

区 分	年 度	卒業生	就 職 希望者	就職者	就職率	就職以外の進路者	
						進学者	その他
神戸女子大学	平成25年度	825名	706名	680名	96.3%	27名	92名
	平成24年度	775名	624名	594名	95.2%	27名	124名
神戸女子短期大学	平成25年度	366名	315名	294名	93.3%	43名	8名
	平成24年度	381名	314名	300名	95.5%	47名	20名

3 国家試験の受験・合格状況

神戸女子大学における平成25年度の主な国家試験の受験・合格状況は下表のとおりです。社会福祉士、精神保健福祉士の合格率は前年度を大きく上回り、管理栄養士も前年度を上回る高い合格率となっています。

試験区分	年 度	受験者	合格者	合格率
管 理 栄 養 士	平成25年度	171名	164名	95.9%
	平成24年度	138名	129名	93.5%
社 会 福 祉 士	平成25年度	46名	26名	56.5%
	平成24年度	32名	9名	28.1%
精神保健福祉士	平成25年度	12名	10名	83.3%
	平成24年度	10名	7名	70.0%

4 教職支援センターの活動

教職支援センターは、本学園の教職課程運営の拠点組織として、教職課程のカリキュラム（教育課程）の検証や改善、教職課程の履修指導や教育実習の指導、教員採用試験の対策、教員免許状更新講習の実施など活発な活動を展開しております。平成 25 年度においては学校教員として 146 名、保育士として 140 名、合計 286 名が採用され、前年度を上回る結果となりました。

5 ライブラリー・コモンスの設置、ポートフォリオの導入

学生が能動的な学修を目指すように支援する体制を組織化するとともに、建学の精神を生かした大学教育の質向上を目指すことを目的として、学習支援センター等を含むライブラリー・コモンスを須磨キャンパスの図書館1回に整備しました。また、学生のキャリア形成の推進及び大学教育の基本的な学習習慣の早期定着を図るため、ポートフォリオ「manaba course2」を導入し、平成26年4月から始動しています。

〔ライブラリー・コモンスの概要〕

- ・学習支援センター……センター内のブースで教員が基礎科目等について学習相談・指導を行う
- ・共用自習コーナー……学生に学習用スペースを提供し、能動的な学習を促す
- ・ランゲージ・カフェ……グローバル化に対応した育成の場として留学生等との交流、情報交換等を行う



（ランゲージ・カフェ）



（共用自習コーナー）

6 授業評価等の取組み

神戸女子大学、神戸女子短期大学では、全ての授業科目を対象に授業アンケートによる学生の授業評価を実施しており、学修状況、満足度、理解度、施設・設備等についての回答結果を集約のうえ各教員にフィードバックする等、授業の改善や工夫に努めています。また、教員相互の授業見学により、効果的な授業方法や多様な授業のあり方について相互学習を進めるなど、魅力ある授業づくりにも取り組んでいます。

7 科学研究費補助金の採択状況

平成 25 年度科学研究費補助金の採択状況は、下表のとおり 27 件 42,380 千円で、金額において前年度を上回る結果となりました。

研究種目	平成 25 年度 (単位：千円)				平成 24 年度 (単位：千円)			
	件数	直接経費	間接経費	合計	件数	直接経費	間接経費	合計
基盤研究(B)	1	4,300	1,290	5,590	1	3,500	1,050	4,550
基盤研究(C)	24	26,900	8,070	34,970	24	26,000	7,800	33,800
若手研究(B)	2	1,400	420	1,820	3	1,600	480	2,080
挑戦的萌芽研究	0	0	0	0	0	0	0	0
計	27	32,600	9,780	42,380	28	31,100	9,330	40,430

8 産学連携活動の取り組み

企業や財団が提供する資金を獲得して行う共同研究等の状況は以下のとおりです。

年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
共同研究・受託研究（継続含む）	4 件	6 件	8 件
商品化・サービスの開始など事業化への貢献	0 件	2 件	2 件
技術相談受け入れ件数	1 件	1 件	2 件

平成 25 年度には、学生が中心となって株式会社コープフーズ、大塚食品株式会社との間で商品開発に取り組み、平成 25 年 8 月にコープこうべ 161 店舗で販売を開始しました。商品を考案した学生に対しては、平成 26 年 3 月 14 日に株式会社コープフーズから感謝状が贈呈されました。



（学生が考案した「がつんと贅沢 25 品目牛丼弁当」）



（感謝状贈呈の様子）

9 附属図書館の状況

神戸女子大学及び神戸女子短期大学図書館では、各分野における教育研究の推進を支援するため、書籍をはじめ学術資料等の充実に努めており、平成 25 年度末の蔵書数等の状況は、下表のとおりです。

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度	
神戸女子大学	蔵 書 数	271,367 冊	267,488 冊	264,388 冊
	図 書 年 間 受 入 数	4,417 冊	3,544 冊	3,538 冊
	学術雑誌年間受入数	330 種	350 種	382 種
	視聴覚資料年間受入数	319 件	236 件	109 件
神戸女子短期大学	蔵 書 数	103,349 冊	115,047 冊	117,725 冊
	図 書 年 間 受 入 数	1,870 冊	2,519 冊	2,297 冊
	学術雑誌年間受入数	225 種	225 種	228 種
	視聴覚資料年間受入数	147 件	277 件	263 件

10 神戸女子大学看護学部設置に向けた取組み

平成 25 年度において神戸女子大学看護学部の設置を決定し、平成 27 年 4 月の開設に向けた取組みを展開しました。

(1) 設置概要

時 期) 平成 27 年 4 月
場 所) 神戸女子大学ポートアイランドキャンパス
学 部) 看護学部 (看護学科)
学 位) 学士
定 員) 80 名 (収容定員 320 人)
学 舎) 鉄筋コンクリート造 5 階建 (新築)

(2) 設置の推進体制

- 看護学部設立準備委員会 (平成 25 年 5 月 1 日設置)
(カリキュラム検討部会を含む)
- 看護学部設立準備室 (平成 25 年 5 月 24 日設置)
- 神戸女子大学看護学部設置推進本部 (平成 26 年 2 月 1 日設置)
(作業部会を含む)



11 国際交流の推進

英語英米文学科のハワイ大学セメスタープログラム（前・後期実施）や神戸国際教養学科のピッツァー大学長期留学をはじめ、種々の留学・研修プログラムを実施するなど国際交流を推進しています。

研修・留学名	大学・機関名	期 間	派遣学生数		
			大学	短大	計
華南師範大学交換留学	華南師範大学	約1年	2	-	2
華南師範大学言語文化学習・インターンシッププログラム		約6月	1	-	1
ハワイ大学セメスタープログラム（前期）	ハワイ大学	約4月	16	-	16
ハワイ大学セメスタープログラム（後期）		約4月	14	-	14
夏期ハワイ大学英語研修		約1月	6	6	12
春期ハワイ大学英語研修		約1月	12	3	15
ケント大学英語研修		ケント大学	約1月	13	-
日本語教授補助インターンシップ・プログラム	約2週		1	-	1
フライブルク大学ドイツ語研修	フライブルク大学	約1月	9	-	9
ピッツァー大学サマープログラム	ピッツァー大学	約1月	29	-	29
オークランド工科大学短期日本語教育研修	オークランド工科大学	約2週	4	-	4
カリフォルニア州立ポリテクニク大学ボモナ校セメスター&インターンシッププログラム	カリフォルニア州立ポリテクニク大学ボモナ校	約6月	8	-	8
チェンマイ大学・英語・タイ文化学習・インターンシッププログラム	チェンマイ大学	約6月	5	-	5
高麗大学・韓国語研修	高麗大学	約3週	8	-	8
ハワイ クアキニ・ヘルスシステム病院実習	クアキニ・ヘルスシステム	約2週	2	-	2
チェンマイ大学他	タイ・スタディツアー	約1週	3	-	3
ウダヤナ大学	インドネシア・バリ州栄養研修プログラム	約1週	7	-	7
ホーエンフロイデンシュタット病院	ドイツ臨床栄養研修プログラム	約2週	4	-	4
合 計			144	9	153

提携大学は8か国15大学に及び留学メニューの多様化など更なる国際交流の推進を図っています。

12 社会貢献の概要

(1) 地域連携活動

神戸女子大学では連携協定を締結のうえ、須磨離宮公園（「キャンパス・パーク連携」）、神戸市須磨区との活動をはじめ、行政機関、地域団体等が主催するイベントへの協力等、「まちづくり」、「学習支援」「人づくり」に多数の教職員及び学生が取り組んでいます。須磨区の商業施設（名谷パティオ）で開催された「須磨ニュータウン展」では、40年前の「団地の暮らし」を再現した団地模型や、そのリフォーム提案模型を展示し、少子高齢化が大きな課題となっている須磨ニュータウンの活性化に寄与しようとした取り組みが多くの方を集めるとともに、新聞報道で取り上げられました。また、神戸市内各所で継続的に実施してきた「地域安全マップ活動」は、児童館や小学校で実施し、子どもたちの防災・減災意識の向上、安全・安心まちづくりの大切さを多くの子どもたちへ広めることに貢献しています。

ポートアイランドキャンパスでは、平成20年1月に神戸市中央区と地域連携協定を締結して、同区主催の行事や福祉活動への参画、食育・幼児教育や福祉等に関する大学の教育・研究分野を活用した市民への情報提供、オープンカレッジによる社会人教育の推進等を行っています。



（須磨ニュータウン展において展示した団地模型）



（地域安全マップ活動の様子）

(2) ポートアイランド4大学の連携

ポートアイランドキャンパスでは、平成19年度に近接の神戸学院大学、兵庫医療大学、神戸夙川学院大学と連携協定を締結し、4大学の教育・研究の交流及びポートアイランド地域に対する貢献を目的とした共同事業活動を展開しています。この事業は、平成20年10月からは文部科学省の戦略的大学連携事業として位置づけられ、安全・安心・健康のための総合プログラムを地域で展開する中で、地域への貢献をより発展させたものとなっています。

(3) オープンカレッジの開講

神戸女子大学教育センター（三宮キャンパス）では、地域の人々を対象にオープンカレッジを開催していますが、平成25年度は延2,530人が受講しました。オープンカレッジでは、本学の古典芸能研究センターや現代詩文庫など固有の知的財産を生かした講座や時代の求める題材をテーマとした講座作りに努めており、修学ニーズに即したテーマの開拓率により受講者層の拡大を図ってまいります。

講座	講座数			受講人数			1講座当り受講者数		
	23年度	24年度	25年度	23年度	24年度	25年度	23年度	24年度	25年度
春期講座	49	41	50	700	653	725	14.3	15.9	14.5
夏期講座	25	26	28	321	364	403	12.8	14.0	14.4
秋期講座	49	49	50	725	733	786	14.8	14.9	15.7
冬期講座	35	38	38	576	647	616	16.5	17.0	16.2
計	158	154	166	2,322	2,397	2,530	14.6	15.5	15.2

(4) 公開市民講座の開催

地域とのコミュニケーションを目指して開講している公開市民講座は、春季、夏季、秋季の3期に分けて実施しており、平成25年度の実施内容は以下のとおりです。

区分	メインテーマ	日程	テーマ	受講人数
春季	「再生」	第1回 5月18日(土)	失われる家族と再生する家族	45
		第2回 6月8日(土)	腸内環境の再生	56
		第3回 6月22日(土)	“今” 見つめよう 子どもの育ちと教育	35
		第4回 6月29日(土)	崩れる生活を立て直すために	45
		第5回 7月13日(土)	古代人の再生観	34
夏季	あなたの体力発見	第6回 9月18日(水)	コンピュータによる体力測定	24
秋季	旅する公開講座 「再生」	第7回 ～ 第11回	和束町体験交流センター（春季と同内容） [京都府相楽郡和束町：H23.1.19 連携協定締結]	
H25.10 ～ H26.7	爽やか健康講座 2013	全10回	(ADL体操を名称変更しH20年度より公開市民講座として開催)	

(5) 古典芸能研究センターの活動

古典芸能研究センターは、古典芸能に関する調査・研究ならびに社会への学術的貢献を目的として開設された研究施設で、学内外を問わず利用可能であり、能楽・近世芸能・民俗芸能に関する所蔵資料の公開を中心に、展示や特別講座、シンポジウム、講演会等も開催しています。平成25年度には、研究プロジェクト「日本古典芸能の横断的総合的研究拠点の形成」が文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」として採択され、中世芸能・近世芸能・民俗芸能の研究拠点として整備し、向こう5ヶ年計画での研究を推進することとなりました。12月には当該事業として、能楽学会と共に公開研究会「第21回能楽フォーラム 能から浄瑠璃へー正本・操りの問題を中心にー」を開催しました。

[改修の内容]

施設の拡充（三宮キャンパス2・3F 710㎡）

2F 貴重本書庫・資料室・展示室・資料室・閉架式書庫・撮影室等

3F 資料室(閲覧スペース)・研究ブース

[研究の概要]

所蔵する日本有数の古典芸能関係の貴重な資料群を活かした研究拠点づくり

(資料公開・シンポジウムの開催・刊行物の発行等)



(6) 地域貢献活動

人づくり、まちづくり、健康づくりを基軸として、様々な地域貢献活動を展開しており、これらの活動状況は適時ホームページを通して広く社会に向け発信しています。

- 【人づくり】
- ・親子通所センター（愛称：子育て広場“あい・あい”）
（地域から子育て広場へ通う親子に、教員や学生が子育て支援をする）
 - ・算数・数学クリニック（算数・数学の学習につまずいている子どもたちの学習支援）
 - ・『きずなDAY』（神戸女子短期大学・神女中山手保育園の子育て支援連携事業）
- 【健康づくり】
- ・健康神戸 21 推進事業 ADL 体力アップ講座（ポーアイ4大学による連携事業）
（高齢者のADL（日常生活動作）の活性化とQOL（生活の質）向上のための体操講座）
 - ・フィットネス教室（高倉台の地域住民と交流を目的に体操・体力測定などを実施）
 - ・男性のための料理教室（ポートアイランド在住の男性を対象とした料理教室）
- 【まちづくり】
- ・ふれあい給食サービス（高齢者のひきこもりの予防と高齢者とふれあう機会づくり）